

タブレット活用レシピ集



3学年版

3年生 国語科	単元（活動名）	人物を考えて書こう	
	タブレット端末 活用の形態	ペアで1台	

●目的 ・ 2人で場面を想像してノートに様子や会話文を書き込む

●利用する機能等

- ・ ジャストスマイルクラス<デジタルノート・授業支援ソフト>
- ・ タッチペン

●活用の流れ

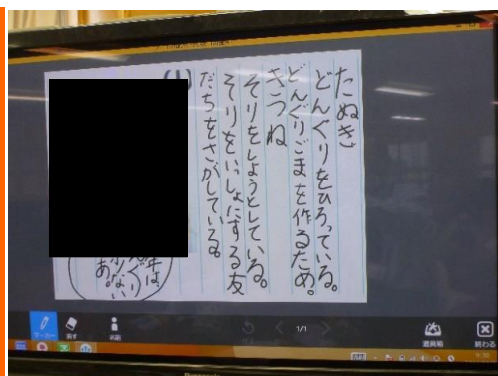
①ジャストスマイルクラスのデジタルノートで4つの場面の挿絵と縦罫が入ったワークシートを作成しておく。

②教師のタブレットから、児童のタブレットにワークシートを送る。

③二人一組で、登場人物（たぬき・きつね）がどんな性格なのか、何をしているのか、何を話しているかを等を考えて書き込む。

④考えた登場人物のお話の流れををグループで発表し合ったり、書き込んだワークシートを回収してクラス全体に公開したりする。

※教科書の挿絵は削除しました



②③配布したワークシートに書き込む



④クラス全体に発表する

●教師の働き掛けや児童の様子

★お話作りの単元で、タブレットを介して二人組で相談しながら登場人物について考えたり、話の流れを作ったりすることで、対話をしながら考えをまとめることができた。
★書き込んだワークシートを一括集約してすぐに発表できるので、活動がスムーズに流れる。発表も意欲的にできた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

書き込み容易な大きい文字で書かせるワークシートを作る

これまでの授業と同様に、ワークシートを作っておくが、タッチペンで書き込みをすることや、教室のテレビの画面に表示させることを考えると、大きな文字で容易に書き込めるものを作っておくとよい。書き込んだ物を一覧にしたときも、文字が大きい方が目的のシートを探しやすい。

3年生 国語科	単元（活動名）	漢字のへんとつくり	
	タブレット端末 活用の形態	ペアで1台	

- 目的
 - ・へんとつくりについて知り、それらを使って漢字を組み立てることができるようにする。

- 利用する機能等
 - ・タブレット学習用Webアプリ「漢字パズル小3 へんとつくり」
http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/material/tablet_web/kanjiPuzzle31/index.htm

●活用の流れ

- ①教科書の「漢字のへんとつくり」について、漢字にはへんやつくりなどの部首があり、それらから成り立っていることを知る。
- ②ペアに1台、タブレットを配布する。
- ③インターネットサイト「漢字パズル小3 へんとつくり1」にアクセスする。
- ④ペア同士で交換しながら、漢字の部分を組み合わせ正しく漢字を完成させる。
- ⑤「へんとつくり2」「かんむり」にも挑戦する。



●教師の働き掛けや児童の様子

- ★初歩的な操作で学習できることができるので、どの子も抵抗なく学習に取り組めることができた。
- ★ペアで交換しながら全部の漢字を見つける時間を競ったり、一人の児童が選んだへんを選び、もう一人の児童がそれに合う漢字を探したりするなど、ルールを工夫した。

●本レシピのワンポイントアドバイス

- タップとフリックなど、タブレット操作の基本について学習する目的としても活用することができる。
- インターネットのコンテンツを利用するときは、スムーズに活用できるように、予め「みんなのフォルダ」の中にリンクを貼っておく準備が必要である。
- 「タブレット学習用Webアプリ（岩手県総合教育センター）」には他の教材もある。

★ 出典：岩手県教育センター 開発教材倉庫
<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/material/index.html>

3年生 国語科	単元（活動名）	町について調べてしようかいしよう	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
 - ・ 知りたいことについて調べ，発表することを整理する。
 - ・ 資料を使って，聞き手に分かりやすく説明する。

- 利用する機能等
 - ・ ジャストスマイルクラス<カード>

●活用の流れ

①説明会に向けて，グループのテーマを決め，調べる計画を立てる。知りたいことを書き出し，分担する。

②情報を集める。
 ・ 資料を読んで，ワークシートにまとめる。
 ・ 説明で使う資料を選び，カードのカメラ機能で撮影する。必要に応じて簡単な加工をする。

③説明会の準備をする。
 ・ 集めた情報を整理したり，資料を選んだりする。
 ・ グループで，説明の組み合わせを考える。
 ・ ジャストスマイルクラスのカード機能を使い，発表の資料を並べる。
 ・ 発表原稿を書く。

④発表の練習をする。

⑤発表会を開く。
 タブレットとTVをつなげて，資料を提示しながら説明する。



①資料を整理（入れ替えも簡単）



②資料の加工（トリミングなど）もすぐできる

●教師の働き掛けや児童の様子

★使いたい資料を本から直接カメラで撮影でき，保存できるため，自分たちで資料の準備ができる。資料の加工（トリミングなど）や変更も容易にできる。接写も可能。また，集めた資料の順番も入れ替え可能。

★説明会では，「さいせい」ボタンでプレゼン画面に切り替わり，カラーで資料を拡大提示できるため，説明と資料を効果的に発表することができる。

●本レシピのワンポイントアドバイス

資料の効率的な活用と発表時の効果的な提示

資料を使った発表会の指導では，資料が小さかったりカラーでは準備できなかったりすることが多く，子どもが選んだ資料を教師が印刷することになる。しかし，タブレットのカード機能を使い，「カメラ」ボタンで写真を取り込めば，子ども自身で必要な資料をカラーですぐ用意できる。また，取り込んだ資料を，画面上で順番に並べることができ，話し合いながら資料を整理できる。説明会場面では，TVとつなげば「さいせい」ボタンで拡大して効果的に提示できる。

3年生 社会科	単元（活動名）	働く人とわたしたちの暮らし1（店で働く人と仕事）	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
 - ・ デジタルチラシを見ることによって、お店が売り手に対して工夫していることを知ることができる。

- 利用する機能等
 - ・ スーパーマーケットのインターネットサイト
（「清水フードセンター」「ウオロク」のスーパーマーケット）

●活用の流れ

①家の人が、スーパーマーケットで買い物をする機会が圧倒的に多いことを買い物調べから共通理解する。

②家の方は、何を考えながら買い物をしているのかをインタビューする。

③チラシを見て、買い物をする家の方が相当数いることを確認し、チラシには、お店の買い手に対する、どんな工夫がされているのかインターネットサイトのチラシページで調べる。

④複数のスーパーマーケットで比べてみて、気付いたことや考えたことを記録し、発表し、共有する。



③チラシサイトを見て、工夫を探す

●教師の働き掛けや児童の様子

子どもたちにとって、スーパーのチラシは日常的になくなってきている。買い物をする家の人へのインタビューからチラシという存在を知り、見てみたいという知的欲求の高まりが見られた。そこで、チラシサイトがあることを紹介し、「そのチラシに、家の方が買い物に行きたくするような工夫があるのではないか」というところから、そのチラシから店の工夫を調べ始めた。

商品の説明が詳しくされていること、割引のこと、ポイントことなど様々な工夫に気付く姿が見られた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

すぐにたどり着ける学習材・全員が共通もので学習できる学習材

最近では、新聞を取っていない家庭が増えてきたことから、デジタルで全員共通な教材を提示することができる。また、スーパーマーケットのチラシサイトは各店舗であり、比べることもできたり、一店舗のチラシを詳しく調べたりすることができる。また、カラーで見ることができるので、とても見やすく、視覚的に店の工夫を知ることができる。

この学習をした後に、校外学習で、スーパーマーケットの見学に行くと、実際を確かめることができると考える。

3年生 社会科	単元（活動名）	働く人とわたしたちの暮らし2（工場で働く人と仕事）	
	タブレット端末活用の形態	グループ1台	

- 目的
 - ・かまぼこがどこに送られ、売られているかについて、地図に表して視覚的に理解する。

- 利用する機能等
 - ・ジャストスマイルクラス<お絵かき>
 - ・タッチペン

●活用の流れ

- ①前時までに、かまぼこ工場のホームページから、本店、工場、支店や営業所が何県にあるのかを書き出しておく。
- ②あらかじめ日本地図が貼ってあるペイント書類を開く。
- ③お絵かき（ジャストスマイル）の基本操作を知る（色の選択と塗りつぶし、間違ったときの操作、移動と拡大・縮小等）。
- ④3人グループで塗りつぶす色を決め、順番にメモを基に支店や営業所がある都道府県を塗りつぶす。
- ⑤いくつかのグループの地図を大型テレビで見て、全国に商品が行き渡っていることを視覚的に理解する。



④サクサクと色ぬり中！



④' ブラウザも立ち上げて、追加情報を集める猛者も！

●教師の働き掛けや児童の様子

★比較的操作はスムーズで、視覚的に全国に支店や営業所が広がっていることが分かった。
 ★色があふれてしまったり、文字や境界をぬってしまったりすることがあるが、元に戻す操作を教えることで慌てることがなかった。色があふれた場合は、境界を黒等でふさぐことで塗ることができる。

●本レシピのワンポイントアドバイス

協力して1つの地図をスムーズに作成し、情報を共有する

貼り付ける地図によっては境界線が切れていて色があふれてしまうことがある。事前にチェックして修正しておく。

指の操作では細かすぎてうまくできないことがあるので、タッチペンが必須である。3人で順番に色を塗ることで個人差を埋め、北海道にも九州にも全国に支店や営業所があることに自分たちで気付くように声かけをしていく。

★実践した感想

3年生 社会科	単元（活動名）	地図記号を身につけよう	
	タブレット端末 活用の形態	その他	

●目的 ・ 社会科の地図記号を楽しみながら覚える。

●利用する機能等
・ インターネットサイト「地図記号バトル」

<機材>

- ・ USB・LANアダプター
- ・ マイクロHDMIケーブル

●活用の流れ

<環境整備>

- ① マイクロHDMIケーブルを使い、タブレット型コンピュータから直接テレビに映せるようにする。
- ② USB・LANアダプターを使い、タブレット型コンピュータ単体で、インターネットを使える環境を作る。

<活動の実際>

- 1 ネットサイトにある「地図記号バトル」をタブレット型コンピュータに表示する。
- 2 まず、教師がタブレット型コンピュータで、地図記号バトルをする様子を、テレビを通して子どもたちに見せる。
- 3 その後、子どもたちに順番でやらせる。子どもたちがタブレット型コンピュータで対戦している様子は、テレビに表示され、一緒に考えたり、楽しんだりすることができる。



●教師の働き掛けや児童の様子

このフラッシュサイトは、タブレットを使えば2人での対戦も簡単にでき、子どもたちは夢中になって楽しむことができた。タブレット型コンピュータの操作についてはタップの仕方を簡単に教えるだけですぐに利用することができる。対戦している子どもたち以外にもテレビ画面を見ながら一緒に答えを考えたり、友達の回答の早さに感心したりしながら興味関心をもって参加していた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

1台のタブレット型コンピュータだけでもインターネットにつなげる環境を作れば、タブレット型コンピュータのネット活用が気軽にできるようになる。無線LANを用意したり、つないだりする手間が省け簡単になる。教師が気軽に使えるようにマイクロHDMIケーブルとUSB・LANアダプターの整備をお勧めする。どちらも高価ではなく、特にマイクロHDMIケーブルは、今回整備されたデジタルカメラやデジタルビデオをテレビに映すときにも使えるので、各学級1本ずつは用意したい。

★地図記号バトル(TOSSランド内)

http://www.tos-land.net/system/content_text/attach_data/392932/tizukigoubatle.swf

出典:TOSSランド

<http://www.tos-land.net/>

3年生 社会科	単元（活動名）	地図記号を覚えよう！	
	タブレット端末 活用の形態	ペアで1台	

- 目的
 - ・ゲーム感覚で、楽しみながら地図記号を覚える。
- 利用する機能等
 - ・インターネットサイト「地図記号バトル」
 - ・http://www.tos-land.net/system/content_text/attach_data/392932/

●活用の流れ

- ①インターネットサイトの「地図記号バトル」にアクセスする。
- ②個人練習用サイトで正しく答えられるように習熟を図る。
→この時もペアで1台を操作させ、お互いに考えたり、教え合ったりしながら高得点を目指すようにするとよい。
- ③対戦型ゲーム レッズVSブルース で戦う。（レベル1は制限時間が30秒、レベル2は60秒なのでクラスの実態に合わせて選択する。）
- ④対戦相手を変えるなどして、いろいろな児童と関わらせたり、勝ち負けを体験させながら、楽しく地図記号を覚える。



①サイトのトップ画面



③対戦している様子

●教師の働き掛けや児童の様子

- ★本実践で活用したサイトは、間違えるとマイナスポイントになってしまうので、しっかり覚えていないと、なかなか得点が取れない。「次の時間にも対戦するよ」と予告すると、地図記号の自主学習をしてくる児童がたくさんいた。
- ★トーナメント戦やグループ内の総当たり戦など、色んなバリエーションで対戦させることで、児童は意欲的に取り組んでいた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

サイトへのアクセスをスマートにする
児童に検索をさせて目的のサイトへ辿り着かせるのには、よほど操作に慣れてないと、時間を消費する。そこで、「みんなのフォルダ」にサイトへのショートカットを作っておくと便利である。習熟の時間における活用なので、なるべくタブレット端末に触れる時間を長く確保したいものである。



★出典：TOSSランド(<http://www.tos-land.net/>)

3年生 算数科	単元（活動名）	三角形（二等辺三角形と正三角形をさがせ！）	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

- 目的
 - ・正三角形と二等辺三角形を身の回りの中から探し、向きや大きさが変わっても識別できるようにする。
- 利用する機能等
 - ・カメラ機能

●活用の流れ

- ①正三角形と二等辺三角形の識別をする。
→向きが変わると間違ふことが多い。
- ②グループごとにタブレットで図形を撮影する。
見付けたら、順番に撮影する。
できるだけ正面から撮影するようにさせる。
向きはそのまま撮影させる。
- ③全体で、正三角形か二等辺三角形か検討する。
辺が直線であること。
辺の長さに注目すること。
向きを変えても形は変わらないこと。



●教師の働き掛けや児童の様子

- ★教えた方法はカメラの起動と再生だけだが、自分たちで工夫してズームしたりピントが合うようにしたりしていた。
- ★看板や標示にだけ目が向くと思ったが、ポスターの中の絵や文字、ボタンや差込口のアイコンなど、細かいところまで目を向けて見付けていた。
- ★様々な向きの三角形を見付けることができ、子どもたちは満足していた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

すぐに使える簡単レシピ

図形に関しては、経験不足などの理由で、教科書やプリント、説明だけでは完全に理解できない子どもがいる。実際にもものに触ったり見付けたりする活動をすることで、身の回りに存在する様々な図形に目を向けることができる。カメラを通すことでその形がはっきりし、どこに辺が隠れているのか、向きを変えるとどうなるのかなどの視点を養うことができる。
タブレットの一番簡単な使い方、カメラ機能を使って探求させたり検討させてみてはい

★実践memo

3年生 理科	単元（活動名）	ぐんぐんのびろ	
	タブレット端末 活用の形態	ペアで1台	

●目的 ・ いろいろな植物のつくりを調べ、植物の体は根・茎・葉からできていることを確かめる。

●利用する機能等

- ・ タブレット学習用Webアプリ「植物のつくり」
- ・ <http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/material/camera/rika3nekukiha/index.html>

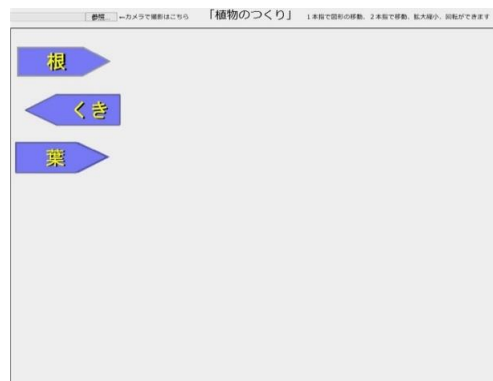
●活用の流れ

①教科書P37の「いろいろな植物のからだのつくり」にある植物のからだのつくりを確かめる。

②タブレットで学校の周りの植物の写真を撮る（2人で1台）。

③インターネットサイトの小学生向け教材「植物のつくり」（岩手県立総合教育センター）にアクセスする。

④撮ってきた植物の写真を取り込み、根・くき・葉のカードを移動させて、植物のつくりを説明する。



①写真を取り込む前の画面



②写真を取り込んだ後の画面

●教師の働き掛けや児童の様子

※11月にタブレットが入ったばかりで、未実践である。

●本レシピのワンポイントアドバイス

学習の定着を図る際に便利である

本レシピで使用するアプリは、岩手県立総合教育センターが作成した「タブレット学習用Webアプリ」の中の1つである。他教科のアプリも多くある。理科では、このアプリのほかに、5年「花のつくり」と6年「てこを利用した道具」があり、同じような機能がある。学習の定着を図る際に使うとよい。

★ 出典: 岩手県教育センター 開発教材倉庫

<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/material/index.html>

3年生 理科	単元（活動名）	光で遊ぼう（日光を集めてみよう）	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

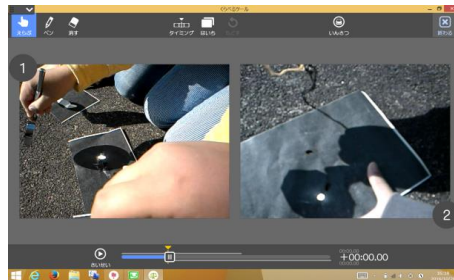
- **目的**
 - ・ 日光の集め方や、使用する虫めがねの大きさの違いで、集めた日光の明るさや温度が変化することを確認する。
- **利用する機能等**
 - ・ ジャストスマイルクラス<くらべるツール・カメラ>

● **活用の流れ**

①虫めがねで日光を集めて黒い紙に当て、黒い紙の変化を観察する実験の説明をする。

②大きい虫めがねと小さい虫めがねを使用し、集めた日光の大きさが小さい時の方が明るく、黒い紙が焦げることを実験を通して確認する。
→大きい虫めがね、小さい虫めがねの、それぞれの実験の様子を<ジャストスマイルクラス・くらべるツール>で撮影する。

③実験のまとめの段階で、撮影した動画や写真を<ジャストスマイルクラス・くらべるツール>で再生し、大きな虫めがねの方が、速く黒い紙を焦がし、集めた日光が明るいことを確認する。
→大きな虫めがねで日光を集めたときの方が温度が高く、明るいことの理解を深める。



③動画の比較



③写真の比較

● **教師の働き掛けや児童の様子**

- ★絶対に虫めがねで日光を見ないことを事前に確認し、消火用の水を用意した。
- ★はじめのうちは、太陽に対する虫めがねの角度や向きの調整が難しく、困っている児童には教師が声掛けをした。
- ★慣れてくると黒い紙を焦がしながら文字を書いたり、絵を描いたりしていた。

● **本レシピのワンポイントアドバイス**

集めた日光の大きさを小さくするまでにかかる時間は、児童によってさまざまである。そのため、撮影する動画のはじめの方で比較に不必要な箇所ができてしまう。<ジャストスマイルクラス、くらべるツール>の再生開始のタイミングを合わせる機能を使い、集めた日光の大きさが小さくなったところから2つの動画を再生すると、紙が焦げるまでの時間が比較しやすく、違いがわかりやすくなる。

★ **実践した感想**

3年生 理科	単元（活動名）	こん虫を調べよう	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・ 昆虫の体のつくりや特徴について調べ、学習したことを確かめる。

●利用する機能等

- ・ NHK for school 「ものすごい図鑑」
- ・ <http://www.nhk.or.jp/school/sukudo/zukan/>

●活用の流れ

理科の単元「こん虫を調べよう」 4 / 4

- ・ 虫探しやすみか調べ・こん虫の体調べなどを経て、子どもたちは以下のことを学習してきた。
 - こん虫の体は、頭・むね・はらの3つの部分に分かれる。
 - こん虫の足は、胸の部分に6本ある。
- ・ ほかのこん虫についても、図鑑などで調べ、「もっといろいろ知りたい!」という欲求を持っていた。
- ・ 本時では、グループごとに1台のタブレットで「ものすごい図鑑」を使って、学習してきたことを確かめたり、新しいことを調べたりする時間として活用した。

PCでも閲覧可能だが、直観的にぐりぐり動かせるインターフェースはタブレットに最適!



いろいろな詳しい特徴がポップアップ。電子顕微鏡などの画像も用意されている

倍率もシームレスに変更可能。

●教師の働き掛けや児童の様子

- ・ 単元まとめの時間に活用。自由に調べて、新たに分かったことなどはノートに記録させた。
- ・ 家でもタブレットやスマートフォンなどを触った経験のある子はかなりいるため、図鑑の始め方や基本的な2～3の動かし方を教えたあとは自分たちで楽しそうに調べていた。虫が苦手な子どもたちも、安心して詳しく見ることができた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

- ・ 事前準備として、①教室内の通信環境を構築・確認し、②サイトをあらかじめ検索して読み込んでおいた。また、ウィンドウは最小化しておいた。
- ・ 班に1台ずつ使わせ、予備1台を最初の説明用および不具合の際の交換用として活用した。

★ 出典：NHK for school
<http://www.nhk.or.jp/school/>

3年生 音楽科	単元（活動名）	器楽「山のポルカ」	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

●目的 ・ 導入部分で曲の指使いを見て覚えるために画像を映す。

●利用する機能等

- ・ テレビ
- ・ iPad

●活用の流れ

- ・ 「山のポルカ」の曲を聴く。
- ・ 歌って曲に親しむ。
- ・ リコーダーパートの階名を調べる。
- ・ リコーダーパートを階名で歌う。
- ・ リコーダーを持って画像を見ながら吹く。
- ・ 演奏しにくい部分の画像を取り上げて、その部分だけ演奏する。
- ・ 画像を見て演奏できるようになったら、画像なしで吹いてみる。

※ 個別指導にも有効でした。

画像を見せながら指使いが違うところを、教師が教えてやるのが可能でした。教師の両手が空くからです。また、練習させたい指つかいを一時停止で見せることができ、有効に練習させることができました。

<左右逆に録画した画像>



<授業風景>



●教師の働き掛けや児童の様子

T 「ビデオのお手本を見ながら練習しましょう。」
C 「見やすいなあ」「練習しやすいよ」

●本レシピのワンポイントアドバイス

- ・ テレビに映す画像は左右逆に撮影した画像を使います。
- ・ どんな曲でも録画できれば練習させることが可能です。

★実践した感想

3年生 体育科	単元（活動名）	器械体操 マット運動	
	タブレット端末 活用の形態	ペアで1台	

- 目的
 - ・ 自分の前転の動きを見て修正点を見付け、ポイントに気を付けて自主的に練習ができる。

- 利用する機能等
 - ・ カメラ機能（動画撮影・再生機能）

●活用の流れ

①マット運動の動画を見て、手の付き方、回転の仕方を確認する。（マット運動動画コンテンツ 岩手県立総合教育センター）

肩幅に手をつく。後頭部からつける。かかとをおしりの下にひきよせる。のポイントを確認する。

②ペアになって前転の動画を撮影する。

③再生した動画を2人で繰り返し見て、ポイントができていないか見直し、修正点を話し合う。

④修正点をもとに練習をする。もう一度動画を撮り自分たちの演技を見直す。



●教師の働き掛けや児童の様子

- 初めての活用だったので、喜んで練習し、撮影する姿が見られた。自分の演技を実際に見ることがなかったので、動画を見ることで修正点がはっきりと分かった。
- どの角度から撮影したら分かりやすいか話をし、撮影する場所を指示した。

●本レシピのワンポイントアドバイス

- ・ 2人で1台のタブレットなので、お互いに演技を撮影しあい、自分たちの演技を繰り返し見直し、修正点を話し合うことが容易にできる。

★実践memo

3年生 体育科	単元（活動名）	器械体操 マット運動	
	タブレット端末 活用の形態		

●目的 . 自分の動きを見て修正点を探し、まっすぐに回ることができるようにす

●利用する機能等

- ・カメラ機能
- ・フリーウェア「LAG MIRROR」

●活用の流れ

①学研のDVDなど映像を映しながら、手のつき方や回るときの目線などを教える。

②先ほど見た映像をもとにしつつ、教師が示範して見せる。両手をつく幅や、おへそをまっすぐにして回することを伝える。

③タブレットの画面をテレビに映し、LAG MIRRORの遅延再生機能を教える。

※遅延再生は、10秒に設定するとよい。2回ほど回った後でタブレット画面を見ると、自分が回っていた姿をその10秒後に見ることができる。

※LAG MIRRORはあらかじめ起動させておく。マットの回り終わる側に、マット向きでセッティングする。

④各自でマットを転がった後、画面を見て修正点を自分で確認しながら練習を進めることができる。

※可能なら、ここで先ほどのDVDを繰り返し再生にし、こちらも自分で見に来ることができるようにするとよい。



●教師の働き掛けや児童の様子

- ・子ども達は、自分の体がどう曲がっているのか、手をどうついているのか等、映像を見返しながら自分の動きについて振り返っていた。
- ・これが初めてのタブレット使用だったので、物珍しさから他の友だちのものも見に来る児童がいた。自分自身の振り返りをして、よりよい動きができるようにとアドバイスをした。

●本レシピのワンポイントアドバイス

- ・マット一列にタブレットPC1つを設定することができれば一番よいが、数が少なくてできない場合は、一列だけにタブレットPCを置いてもできる。並んだ列で練習したらとなりの列に移る、を繰り返すと、4列なら4回に一度は画面を見ることができる。
- ・一度設定すると、他の操作が一切いらないので、ICT機器が苦手な先生も使いやすい。

★実践した感想

各学年 音楽科	単元（活動名）	楽器練習における視覚化	
	タブレット端末 活用の形態	教師が活用	

●目的 ・ 楽器や演奏の様子などを大きく映し出し、児童の理解を支援する。

●利用する機能等

- ・ カメラ, Windows Media Player
- ・ ジャストスマイルクラス「マーカー」「くらべる」

●活用の流れ

●下学年向け

- ①用いる楽器(鍵盤ハーモニカ, リコーダー等)の全体がはっきりと映っている写真を撮影する。
- ②タブレットの画面をテレビに映し出し, テレビ画面上の楽器に指を置きながら説明する等, 児童の動きと同じ動きを示す。
- ③必要に応じて, 「マーカー」で, 基準となる位置等に, 画面上に印をつける。

●上学年向け

- ①優秀な児童の演奏の様子(指の動き等)を動画で撮影する。
- ②タブレットの画面をテレビに映し出し, 段階別練習等において, 必要な児童をテレビの前に集め, 真似させながら練習させる。
- ③必要に応じて, 「Windows Media Player」の再生速度変更機能を用いて, 速度を落として練習させる。



●教師の働き掛けや児童の様子

手元の楽器と同じものを見ながら練習できるため, 一斉指導で十分に習得できる児童の割合が増える。教えあいを促したり, より個別指導に重点を充てたりすることができる。

撮影する写真・動画は, 児童の手元の見え方に考慮し, 向きや角度を工夫して撮影するとよい。

●本レシピのワンポイントアドバイス

ジャストスマイルクラス「くらべる」を使うと, パート混合練習や, 複数グループに分かれての練習に応用することができる。パートごとの動画を, スタート位置を合わせて同時再生することで, それぞれの児童が自分の該当するパートの演奏を確認しながら, 同時に演奏することができる。また, 別々に再生することもできるので, タブレットの台数が少ない場合でも, 習熟度ごとのグループに1台ずつ渡して, それぞれのペースで練習させることができる。

★実践memo

4～6年生 体育	単元（活動名）	技を大きな動きで（マット運動）	
	タブレット端末 活用の形態	グループ1台	

●目的 ・ 側転や跳び前転などのマット運動の技を、大きな動きできれいにできるように練習する。

●利用する機能等

- ・ カメラ
- ・ カメラフォルダ

●活用の流れ

①NHK for school 「などのサイトで、側転のお手本フォームを見る。

②班でカメラ係を交代しながら、側転の様子を動画撮影する。

③自分の番が終わったらすぐに動画でフォームをチェックし、次の練習で気をつけるポイントを話し合う。

※マット運動だけでなく、跳び箱運動や鉄棒運動、高跳びなど、体育のどんな活動でも活用することができる。



①側転の様子を動画撮影



②班で、話し合っている様子

●教師の働き掛けや児童の様子

- ★ローテーションで、列の次の児童が撮影するようにさせた。
- ★「やっぱり足が曲がってる！」など、自分の様子を動画で見た児童は、練習ポイントが一目瞭然であったようだ。
- ★タブレットの操作に特に戸惑うことなく、教え合いながら使っていた。

●本レシピのワンポイントアドバイス

撮影してすぐに自分の動きをチェックする

カメラでの動画撮影が終わると、撮った動画は自動的に繰り返し再生される。これを生かして、撮影した児童と一緒に動画を見ながら、次の練習で気をつけることを話し合うことができる。さらに「ジャストスマイルクラス」の「くらべる」機能で、上手にできている友達の側転と見比べることも可能である。

★実践した感想